

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 中期目標案 新旧対照表

中期目標（変更後）	中期目標（変更前）
<p>I. (略)</p> <p>II. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5. 宇宙輸送</p> <p>(1)(略)</p> <p>(2)LNG推進系</p> <p><u>「GXロケット及びLNG推進系に係る対応について(平成21年12月16日内閣官房長官、宇宙開発担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣)」を踏まえ、これまでの研究開発の成果を活用しつつ、液化天然ガス(LNG)推進系に係る技術の完成に向けた必要な基礎的・基盤的な研究開発を行う。</u></p> <p>(3) (略)</p> <p>6～11(略)</p> <p>II. 業務運営の効率化に関する事項</p> <p>1～2 (略)</p> <p>3. 情報技術の活用</p> <p><u>情報技術及び情報システムを用いて研究開発プロセスを革新し、セキュリティを確保しつつ、プロジェクト業務の効率化や信頼性向上を実現する。あわせて、政府の情報セキュリティ対策における方針を踏まえ、適切な情報セキュリティ対策を推進する。また、財務会計業務及び管理業務に係る主要な業務・システム</u></p>	<p>I. (略)</p> <p>II. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5. 宇宙輸送</p> <p>(1)(略)</p> <p>(2)LNG推進系</p> <p><u>官民協力の下、民間主導により開発計画が進行中のGXロケットについて、我が国が保有すべき中型ロケットとして位置付けられていることから、第二段に搭載する液化天然ガス(LNG)推進系の開発及び飛行実証を進めるなど開発計画を支援してきているが、LNG推進系を含めGXロケットの今後の進め方については、宇宙開発委員会において現在行っている評価の結果等を踏まえ進める。</u></p> <p>(3) (略)</p> <p>6～11(略)</p> <p>II. 業務運営の効率化に関する事項</p> <p>1～2 (略)</p> <p>3. 情報技術の活用</p> <p>情報技術及び情報システムを用いて研究開発プロセスを革新し、セキュリティを確保しつつプロジェクト業務の効率化や信頼性向上を実現する。また、財務会計業務及び管理業務に係る主要な業務・システムについて、最適化計画を実施し、同計画に基づく業務の効率化を実現する。</p>

<p>について、最適化計画を実施し、同計画に基づく業務の効率化を実現する。</p> <p>4 (略)</p> <p>III. ~VII. (略)</p>	<p>4 (略)</p> <p>III. ~VII. (略)</p>
--	------------------------------------

宇宙航空研究開発機構(JAXA)の中期目標の変更理由

1. GXロケット及びLNG推進系の見直しに伴う変更

「GXロケット及びLNG推進系に係る対応について(平成21年12月16日 内閣官房長官、宇宙開発担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣)」が取りまとめられ、GXロケットについては、需要の見直し、全体計画・所要経費の見直しの状況を踏まえ、開発には着手せず取り止めることとされた。

また、LNG推進系については、

- ①国内外のロケットの推進系や軌道間輸送機などの推進系としての適用の可能性
- ②概ね技術的な見通しは得られており、国際的にも優位性を有していることを踏まえれば、今後も研究開発を継続し、その技術を完成させるべき等の理由から、今後は、これまでの研究開発の成果を活用しつつ、技術の完成に向けた必要な研究開発を推進することとされた。

その後、平成22年3月31日の宇宙開発委員会において、「LNG推進系の研究開発について」、JAXAから報告が行われ、平成22年度の研究開発計画について了承が得られたことも踏まえ、中期目標に所要の変更を行う。

2. 第2次情報セキュリティ基本計画の策定に伴う変更

「第2次情報セキュリティ基本計画(平成21年2月 情報セキュリティ政策会議決定)」の中で、「独立行政法人等の情報セキュリティ対策を推進するため、独立行政法人等を所管する政府機関は、中期目標の中に情報セキュリティ対策に係る事項を明記し、独立行政法人等が組織として情報セキュリティ対策に取り組む体制を構築させる。(中略)政府機関における一連の対策を踏まえ、自らの情報セキュリティ対策に係るPDCAサイクルを構築する。」等とされたことを受け、中期目標に所要の変更を行う。